

(健Ⅱ10F)

平成30年4月4日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 范 敏

セアカゴケグモ抗毒素について

「セアカゴケグモ抗毒素について」は、平成29年12月19日付(地Ⅲ186F)をもって貴会宛お送りいたしました。

セアカゴケグモ抗毒素については、国内において入手困難である状況から、主治医が患者の症状を診察した結果、対症療法ではその症状の改善が見込めないと判断した場合、研究班*の研究代表者と主治医が相談したうえで、研究代表者から患者に対して研究班が保管している抗毒素を遠隔処方することができることとされており、主治医は研究協力者として研究班への参加が必要)。

今般、本年4月以降においても、研究班において引き続き同抗毒素を用いて臨床研究を実施することとなった旨、厚生労働省健康局結核感染症課から都道府県衛生主管部(局)宛に別添の事務連絡が発出され、本会に対して情報提供がありました。

なお、代表研究者の異動に伴い、抗毒素の投与が必要な場合の連絡先が変更となっております。

つきましては、本件についてご了知のうえ、管下郡市区医師会ならびに貴会会員に周知いただきたくご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

* 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)
「抗毒素の品質管理及び抗毒素を使用した治療法に関する研究」(研究代表者 一二三亨)

【抗毒素の投与が必要な場合の連絡先】

聖路加国際病院 一二三亨医師 (電話・代表)090-8349-9242

事務連絡
平成 30 年 3 月 29 日

都道府県衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

セアカゴケグモ抗毒素について

標記については、「セアカゴケグモ抗毒素について」（平成 29 年 12 月 12 日付け厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）において情報提供した通り、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業）「抗毒素の品質管理及び抗毒素を使用した治療法に関する研究」（研究代表者一二三 亨。以下「本研究班」という。）において、平成 30 年 3 月末までの期間に限りセアカゴケグモ抗毒素（以下「抗毒素」という。）を用いて臨床研究を実施しておりました。今般、平成 30 年 4 月以降においても、本研究班において引き続き同抗毒素を用いて臨床研究を実施することが決定しましたので情報提供します。

なお、「抗毒素の投与が必要な場合の連絡先」については、「セアカゴケグモ抗毒素について」（平成 26 年 8 月 28 日付け厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）に記載しているところですが、研究代表者の異動に伴い下記のとおり抗毒素の投与が必要な場合の連絡先を変更しますので、併せてご連絡いたします。

貴部（局）においては、本事務連絡の趣旨を御了知いただくとともに、貴管内の医療機関宛てに周知いただきますようお願いいたします。

記

【抗毒素の投与が必要な場合の連絡先】

聖路加国際病院

研究代表者 一二三 亨

（電話・代表）090-8349-9242

【本事務連絡に関する問い合わせ先】

厚生労働省健康局結核感染症課

（担当・内線） 野田（2373）

繁本（2926）

（電話・代表）03-5253-1111